

秋田県沖合域の水温状況 (令和元年9月)

漁業調査指導船「千秋丸」により8月29～30日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

- 表層 「平年並み」～「やや高い」水温です。
- 50 m層 「平年並み」～「かなり高い」水温です。
- 100m層 「平年並み」～「やや高い」水温です。
- 200m層 「かなり低い」～「かなり高い」水温です。
- 300m層 「やや低い」～「かなり高い」水温です。

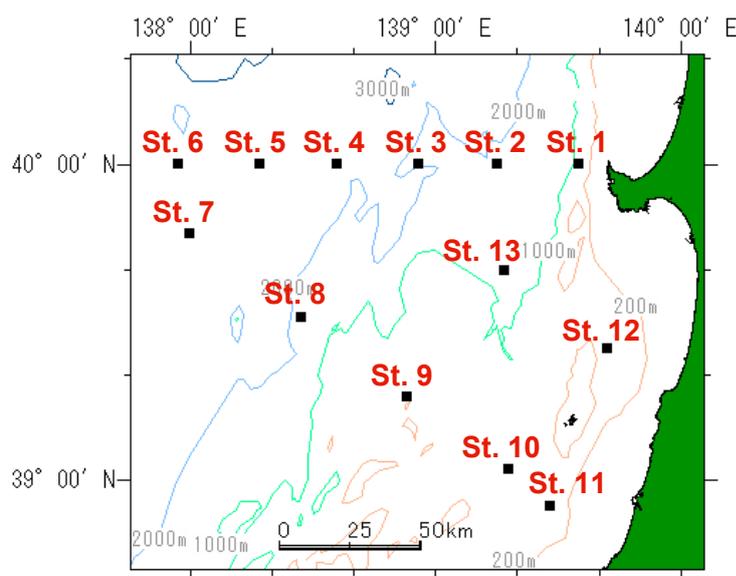


図1 調査船千秋丸による観測定点 (St. 1～13)

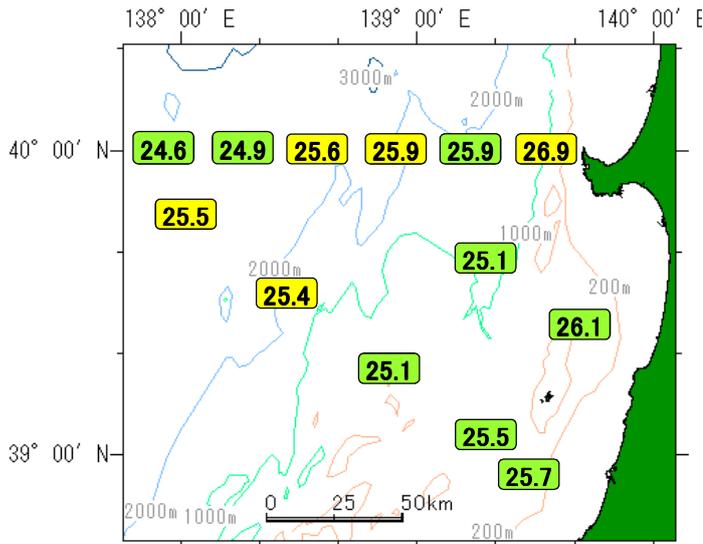
表1 水温の評価区分

評価	偏差※	出現確率
はなはだ高い	+200以上	約20年以上に1回
かなり高い	+130～200	約10年に1回
やや高い	+60～130	約4年に1回
平年並み	±60未満	約2年に1回
やや低い	-60～130	約4年に1回
かなり低い	-130～200	約10年に1回
はなはだ低い	-200以下	約20年以上に1回

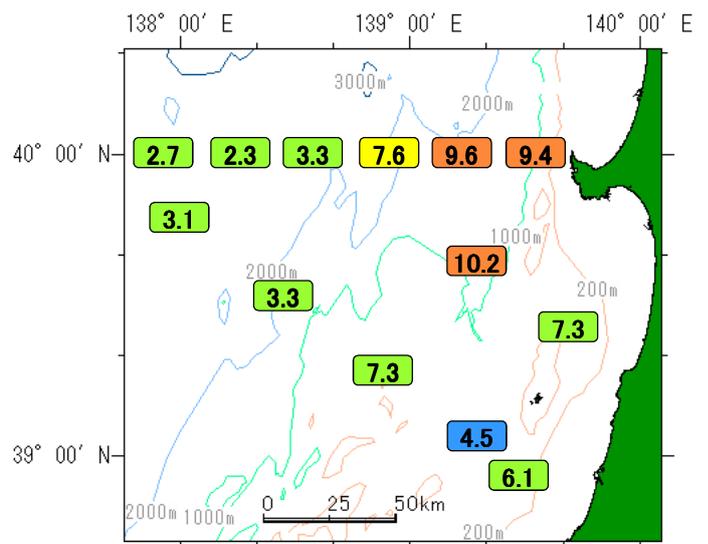
※偏差 = (観測値 - 平年値) / 平年標準偏差 × 100

平年値: 1986～2015年の30年間の平均値

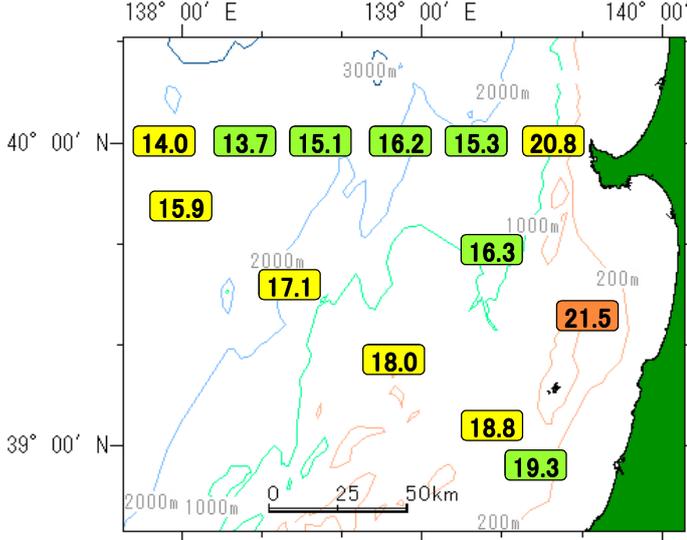
<表層>



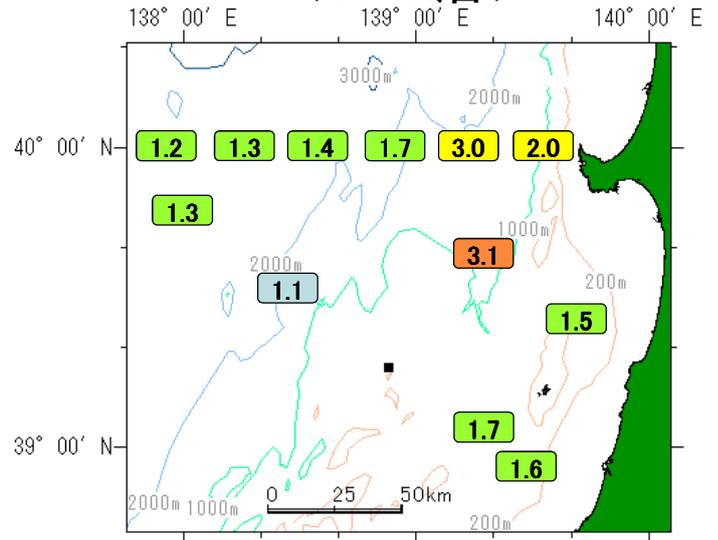
<200m層>



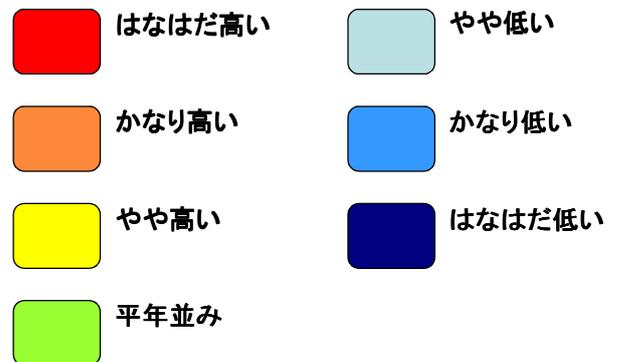
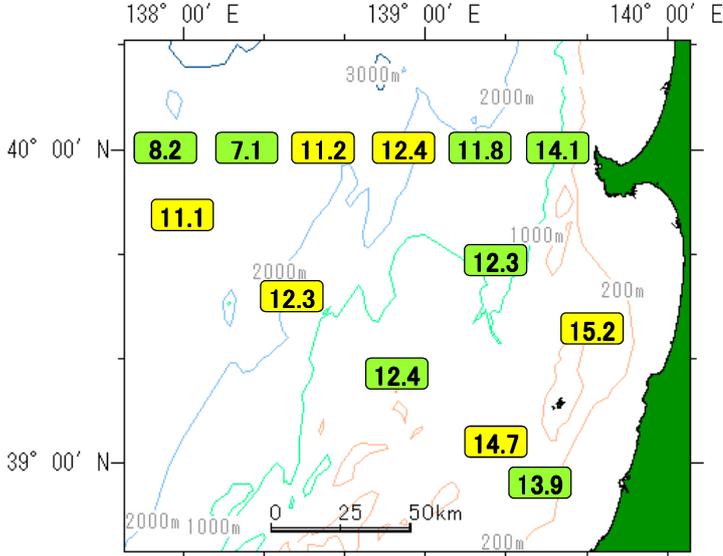
<50m層>



<300m層>



<100m層>



<図2 各層の水溫観測値(°C)と評価>